

130102一般診療所における死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生 時	死傷災害事例	年 齢	事 故 の 型	起因物 (小)	労 働 者 規 模
1	2017	12	17~18	仕事が終わったあと、病院から一旦道路へ出て職員駐車場へ向かう途中、患者駐車場と道路の境において、敷地内のポールとポールの上にチェーンが地面に渡して置かれており、チェーンを跨ごうとしたとき、足が十分に上がらず、垂れたチェーンに足を引っ掛けて顔面から転倒した。	61	2	419	1~ 9
2	2017	12	8~9	勤務先である病院の入り口において、出勤のため扉を開けて入った際に、わずかな段差に不意につまずき、手を出して支えようとしたが間に合わず向かいの壁に激しくぶつけて生じたものである。	60	2	417	1~ 9
3	2017	11	14~ 15	交差点を直進するために一旦停止していた。右側から来た車（事故相手）が左ウインカーを出しながら減速して接近して来たので、左折すると思い、左側を確認し、車は来ていなかったため、発進しようとして動き始めた。すると、右側の車は左折を直前でやめて直進し、自分のバイクと右半身、相手の車の左フロントが衝突した。	34	17	231	1~ 9
4	2017	11	12~ 13	病院の駐車場へ掃除（ワックス掛け）の為、長椅子を運び出していた時、駐車場の車止めに、不注意にも気が付かず足を引っ掛けてしまい転倒し、左足を負傷した。	44	2	417	1~ 9
5	2017	11	0~1	病室で、下半身不自由で常時車椅子で移動される患者様をベッドから車椅子へ、同僚の看護師と一緒に支えながら移乗する	70	19	921	10 ~

				際、本人の腰に痛みが走り、その後動くことが出来なくなつた。本人はその後救急搬送された。				29
6	2017	11	14～ 15	クリニックの2階から緩降機スローダン125を用いた避難訓練を実施していた。被災者が消防設備士による立会と使用説明を受け、着用具（ベルト）を脇の下に巻き、地上に降下したところ、そのベルトが胸の辺りを強く締め付け右7、8肋骨が骨折した。	39	7	379	30 ～ 49
7	2017	11	19～ 20	クリニック内の受付窓口で移動中、椅子に足が躓き転倒し、歩行困難となった。そのまま病院で受診した結果、左股関節骨折で入院、手術、リハビリ加療となった。	42	2	417	10 ～ 29
8	2017	11	13～ 14	カルテ室で窓掃除をしている時、狭いので左手左足を左側の棚に掛け、右足は少し開いた脚立に載せていた。拭き終わり、降りようとした時、脚立にかけていた右足に力が入り脚立が動いて閉じ、バランスを崩し床に臀部から落ちた。その際、棚と脚立の間に立て掛けてあった板に左ふくらはぎをぶつけて負傷した。	71	1	371	1～ 9
9	2017	11	17～ 18	当院内において、退勤するため通用口を出て階段（4段）を降りようとした際、段差約30cm付近で踏み外して転倒し受傷した。	44	1	413	10 ～ 29
10	2017	10	11～ 12	当院診察室においてカルテの移動をしていた際、自分の後ろにあった可動する椅子につまずき転倒し右膝を打った。右膝滑液包血腫。	69	2	417	1～ 9
11	2017	10	8～9	当院にて1階での朝礼会議のため3階事務室から移動していた。3階の職員専用通路を歩いていた処、通路にある段差で左足を捻り、左第5中尾骨を骨折した。	67	19	417	50 ～ 99
12	2017	10	14～ 15	技工室内で鑄造準備をしている時、遠心鑄造機において設計上操作しにくい部分があり、右手が回転アームに巻き込まれ、右手親指を負傷し骨折した。	22	7	161	30 ～ 49

13	2017	10	10～ 11	クリニック在中のビル中階段利用中、バランスを崩し2階の上3段辺りから下の踊場まで10段程度転落し、右下腿を切傷・出血した。	50	1	413	10 ～ 29
14	2017	10	12～ 13	レントゲン室にて事故発生。レントゲン室で、患者のレントゲン撮影をする為、位置確認作業をしている最中、足を滑らせ転倒し、左足を捻った上転倒し、負傷してしまったもの。後日、骨折していることが判明。	53	2	416	1～ 9
15	2017	10	17～ 18	事業所内にて、カルテをバックヤードへ移動中、通路端の足元にあった踏み台に躓き転倒した。転倒した際、側にあった尿排水シンクに右上腕部を強打し負傷した。	73	2	379	1～ 9
16	2017	10	10～ 11	診察所内で医師の診療補助中に、待合室にいる付き添いの家族に診察室に来てもらうために、待合室へ向かう際に、診察台横に設置されているホースに足を絡ませてしまい転倒した。万歳の格好のまま前から転倒したために、両膝を強打した。	55	2	417	1～ 9
17	2017	9	11～ 12	処置室で採血の準備をしていて採血台の前に立っていたら、トイレのドアがドンと閉まり、棚の上の箱が前頭部に落ちてきた。午後になり、頭部と左頸部～肩にかけての痛みと吐き気が出現し、部長へ報告し、クリニックへ受診、頸椎捻挫の疑いのため、専門の整形外科へ転院。	45	4	611	50 ～ 99
18	2017	9	9～ 10	当院駐車場にて、車から降りた利用者男性を室内に誘導していたところ、利用者男性が転倒しそうになった、支えようとしたが、支えきれず一緒に転倒した。	38	19	921	30 ～ 49
19	2017	9	5～6	病院内にて清掃作業中、階段で2階から1階へおりようとして、意識を消失し転落（2階最上段から踊り場まで約9段）。その際、顔面打撲し鼻骨骨折眉上部裂傷を生じた。	62	1	413	10 ～ 29
			10～	次の訪問先へ移動のため、自転車で道路をゆるやかな下り坂を下って走行中、前方から上がってきた自転車の女性が少しふら				100

20	2017	9	11	ついたので衝突を避けようと左へハンドルを切った際、雨が降り地面が濡れていた事もありタイヤがスリップし自転車が左へ傾き、はずみで左へ体が転がり自転車から転落した。	38	17	362	～ 299
21	2017	9	11～ 12	訪問先マンションの駐輪場に自転車にて進入しようとしていた、前の道に駐車車両があったこともあり、やや狭いところ（やや道幅に下がった傾斜あり、雨上がりで濡れていた。）を斜めに入ったが、自転車が右側に滑ってしまい、左側に転倒した。	67	2	362	10 ～ 29
22	2017	9	12～ 13	勤務地と自宅が近い為、昼食を食べに家に帰り、再度会社に戻る途中、自転車に乗って後方を確認した時にバランスをくずして転倒して左手、右膝を負傷した。	68	17	362	100 ～ 299
23	2017	9	14～ 15	1F付近で農業用ビニールハウス内で使用する竹を電動丸型のこぎりで、切断作業をしていたところ誤って、左手親指を切ってしまい負傷した。	63	8	131	100 ～ 299
24	2017	9	8～9	クリニック待合室にて、掃除機をかけていた時に、隣室へ移ろうと掃除機を持って移動中、コードが足元に絡まって、そのコードを踏みつけ転倒、ドアと床に全身を強くたたきつけた。	58	2	911	10 ～ 29
25	2017	9	12～ 13	患者さんの点滴抜去後、点滴スタンドの足につまずき、その後、そばにあった踏台に体をねじった状態で転倒し、負傷した。	71	2	379	10 ～ 29
26	2017	8	16～ 17	クリニックの受付付近で、他のスタッフの足に躓き、肩から転倒した。腕が上がらずビリビリと痺れもあったため受診したところ、レントゲンでは骨に異常はなく肩の神経が傷ついている可能性があるとの診断を受けた。	43	2	417	10 ～ 29
27	2017	8	11～ 12	歯科医院内の2階消毒室から3階院長室に通じる階段において、クリーニング液の入った紙袋を院長室に運ぶとき、最後の一段で足を滑らせ前方に転倒し、防火扉に右手を打ちつけ、右手首を骨折した。	58	2	413	50 ～ 99

28	2017	8	13~ 14	被災者は訪問リハビリテーションの職に従事している。1日あたり6~7名の寝たきり高齢者を訪問してリハビリをするという業務形態をとっており、移動には原付（3輪車）を使用していた。事故当日は雨もしくは降雨の後で、走行中にハンドルをとられて転倒して受傷した。	59	17	231	10 ~ 29
29	2017	8	20~ 21	夜間外来消灯、見回りのための巡視時に、右足を捻った。その後、疼痛と腫脹がひどくなり、クーリングと湿布をしたが、翌日受診し、右第5中足骨骨折と診断された。	65	19	921	30 ~ 49
30	2017	7	11~12	医院内にて作業中、入院患者の洗濯物を干そうと、屋上（3階）にある階段の踊り場横の手スリに干してある器具の乾き状態を確認しに行った。階段を下りる時、前を良くみていなかったため、階段を踏み外して転倒し、左足を打って負傷した。	32	2	413	10 ~ 29
31	2017	7	11~12	当院内視鏡室に於いて、患者様（下半身麻痺で全介助が必要な方）の処置台のベッドから車椅子への移乗介助中、被災者が前傾姿勢をとっていたところへ、患者様の全体重が一気に腰部にかかり、腰から背部への痛みと下肢の痺れを感じた。	54	19	921	30 ~ 49
32	2017	7	10~11	診療所敷地内で草刈り作業をしようとした時、草刈り機を運ぼうとして十分な体勢をとらずに持ち上げた時腰を痛めた。	74	19	169	10 ~ 29
33	2017	7	18~19	工場内にて、団子の生地の入ったタライ（50kg超）を持ちあげたところ、腰と背中に痛みを感じた。	54	19	921	10 ~ 29
34	2017	7	11~12	当クリニック内のトイレに於いて、意識を失い倒れた患者を運び出すため、バスタオル等を使ってその場から運び出そうとした際、不自然な体勢だったため腰に負担がかかり負傷した。	54	19	921	1~ 9
				2階に入居している利用者（女性87歳）のおむつ交換をするため、臥床している利用者の方のズボンを脱がせようとかがんだ				300

43	2017	5	11~ 12	院内1階フロアにて、外来患者の治療を終えて病棟に移動中、慌てていたため躓いて転倒し、右膝を負傷した。	57	2	417	10 ~ 29
44	2017	5	14~ 15	事務所に入院カルテを片付けている時、カルテ収納棚（3段）の上から1段目を引いたところ、被災者の足の上にカルテ棚が倒れてきた。	64	5	911	10 ~ 29
45	2017	5	9~ 10	被災者がデイルームから事務所へ移動中、右片麻痺の利用者が杖歩行中にバランスを崩して転倒しそうになったのを発見した。被災者は急いで利用者の前方に移動し、バランスを崩した利用者を抱えようとした。利用者は男性で55kg位あり、被災者は結局支えきれずに、利用者が覆いかぶさる形で後方へ転倒し、尻もちをつき左臀部を強打した。	65	2	911	30 ~ 49
46	2017	5	14~ 15	自動車を運転し利用者宅に訪問介護をする為駐車場に駐車しようとした際、バックをしようと運転操作をしたが、実際にはドライブ状態のままだった為、アクセルを踏み込み前方の塀に衝突し全身を強打し負傷した。	63	17	231	100 ~ 299
47	2017	4	12~ 13	午前中の仕事が終わりに、自宅に帰る時、職場の駐車場で自転車に乗ろうとした時に足を踏みはずして転倒し、立ち上がれなくなった。	52	2	362	1~ 9
48	2017	4	11~ 12	病室に向かっている時、2階廊下でビニール袋を踏んで転倒した。	57	2	417	50 ~ 99
49	2017	3	10~11	壁に備えつけられているカルテ棚のカルテを取るため、椅子に乗りカルテを取り出したあと、カルテを手に持ち椅子から下りようとしたところバランスが崩れ、後ろにある台に左手を強打し、床に倒れて右足を打った。	50	1	371	1~ 9
50	2017	3	6~7	2階一般病棟でカーテンを開けようとして転倒した。	57	2	416	100 ~

									299
51	2017	3	13~14	診察室で診察台の器具を準備中、額帯電燈のコードに右足を引っ掛けたため、左手をついて転び、左肘（橈骨頭）を骨折した。	64	2	351		1~ 9
52	2017	3	15~16	3Fフリーウェイトルームにて、ベンチプレスでトレーニング中に、限界重量（120kg）に挑戦していてバーベルを胸に降ろしている途中に、重量に耐えきれず左上腕骨を骨折した。	24	19	379		30 ~ 49
53	2017	3	15~16	椅子に座っていた8歳の患者が椅子をずらそうとして、前のめりに倒れそうになった。患者を支え、元の状態に戻すと同時に、患者が乗ったまま椅子の浮いていた脚が右足の上ののった。	37	7	391		1~ 9
54	2017	3	11~12	ホールにある給茶機のタンク（2本）が空になったので台車にタンクをのせて厨房に行った。厨房のシンクでタンクに水を入れて厨房のシンクから水が入ったタンクを台車に移す作業をしていたところ、1本目を移すときは大丈夫だったが、2本目のタンクを台車に移すときに腰に激痛がはしり、その場から全く動けなくなった。	37	19	611		30 ~ 49
55	2017	2	15~16	医療廃棄物を置き場に運ぶ際、外階段の踏み面を踏み外し、転倒した。階段下のアスファルト面に顔面を強打し、顔面打撲・擦過傷を負った。	52	1	413		10 ~ 29
56	2017	2	19~20	研修に参加しての帰り道で、バス下車後、歩道を歩いている時、歩道のポールの根元に躓き転倒する。その際両掌を擦りむき左膝を強打する。	47	2	417		10 ~ 29
57	2017	2	10~11	カルテ棚の整理中、左足首を捻ってバランスをくずし右膝を床に打ちつけた。	61	2	921		1~ 9
58	2017	2	9~10	血圧測定・問診を取りカルテ記入台へ移動中、誤って躓き、転倒して左肩を強打し、受傷する。	69	2	416		10 ~ 29

59	2017	2	7~8	外来廊下を通っていた時に足を滑らせてバランスを崩し転倒した。	45	2	417	30 ~ 49
60	2017	2	13~14	屋外の廃棄物置き場において、医療廃棄物の処理を行う際に、椅子の上に上がって廃棄物を箱（45×45×80cm）に詰め込む作業をしていたところ、椅子の上から転倒し、右手をついて体を支えた際に右肘を突いたものである。	41	1	371	10 ~ 29
61	2017	2	13~14	患者さんに用があり連絡しようと受付カウンターに入ろうとした時、手前にあったカルテ箱に躓き転倒した。その際カルテ箱の先にあったカルテワゴン下部に右手を差し込み右上腕部を骨折受傷した。	43	2	379	10 ~ 29
62	2017	2	10~11	仕事中に小走りで移動した際、右ふくらはぎにバーンという音と衝撃を受け、その後、歩行が困難になった。	46	19	921	10 ~ 29
63	2017	1	8~9	朝通勤し降車後、医院敷地内にて、前日の雪にて凍結した場所で転倒し、右肩を強打し骨折した。	33	2	719	—
64	2017	1	0~1	耳鼻咽喉科で使用する金属綿棒に綿花を巻きつける作業を長期に亘り続けていたため、右手指・右手首等に過大な負荷がかかり、痛みが急激に強くなった。	40	19	921	—
65	2017	1	8~9	病院敷地内（駐車場）で雪かきをしていたところ、地面凍結している箇所があり、滑って転倒し、右手首をつき骨折した。	53	2	719	—
66	2017	1	17~18	患者のベッドからの移動をするための行為中、バランスを崩し、床に手からついた時に右手親指を痛めた。	30	2	921	50 ~ 99
67	2016	12	11~12	職場同僚運転の車両に同乗し、信号の無い十字路交差点を走行中に左方道路を一時停止を怠って交差点に進入したトラックに衝突された。	71	17	221	1~ 9

68	2016	12	11～ 12	職場同僚運転の車両に同乗し、信号の無い十字路交差点を走行中に、左方道路を一時停止を怠って交差点に進入したトラックに衝突された。	56	17	221	1～ 9
69	2016	12	11～ 12	職場同僚運転の車両に同乗し、信号の無い十字路交差点を走行中に左方道路を一時停止を怠って交差点に進入したトラックに衝突された。	59	17	221	1～ 9
70	2016	12	6～7	毎朝体重測定が必要な患者が身障トイレに入ったため、部屋に帰る前に体重を量ろうと詰め所前に体重計を置き、患者が出てくるまでの間と思い他の患者の部屋を訪問した。その際にトイレの開く音がしたため、急いで向かって行っていた時に、廊下ですべり転倒。左上腕を骨折した。	55	2	417	10 ～ 29
71	2016	12	13～ 14	片麻痺の利用者をベッドに寝かせるため介助を行っていたとき、被災者の腰に必要以上に力が加わり、腰を痛めた。	35	19	921	100 ～ 299
72	2016	12	14～ 15	院内で、カウンターの下にある箱から文房具を探していた際、カウンターに置いてあったクリアファイルに気が付かず、顔を上げた際にクリアファイルが右目にあたり負傷した。	54	3	379	10 ～ 29
73	2016	11	10～ 11	リハビリ室にて、腰の牽引を終えた患者をベッドから、抱え起こそうとした時に、腰に激痛を感じた。	54	19	921	1～ 9
74	2016	11	15～ 16	診療所の往診車で医師と共に往診中、信号で停車していたトレーラーに追突した。その際に被災者は胸・腰を打撲した。	29	17	231	10 ～ 29
75	2016	11	8～9	駐車場で除雪作業をしていたところ、足を滑らせて転倒し頭を強打した。	51	2	719	10 ～ 29
76	2016	10	15～ 16	マザーホール（カーペット敷）で、荷物の整理をしている時、すべって転倒。左足首を痛めた。	56	2	416	10 ～

										29
77	2016	10	10～ 11	消化器外来点滴室で点滴中の患者から腰がズれているので上げてほしいといわれたため、患者の横に立ち両脇をかかえた時に腰に激痛がはしり動けなくなった。	41	19	921			300 ～ 499
78	2016	10	18～ 19	入居者の食事介助中、椅子に腰掛けた際に椅子の脚が折れ転倒した。臀部から落下し、腰部、背部、頭部を床で打った。	51	2	379			100 ～ 299
79	2016	10	8～9	外来業務前の院内清掃中に、院内待合室にて不意に転倒し、大腿部から腰部にかけて捻る。	59	2	417			1～ 9
80	2016	9	13～ 14	出勤時に事業所敷地内の職員駐車場に自家用車を駐車して、職場に向かう途中で砂利道のへこみに足をとられ転倒した。その際、突発的に右手をつき負傷した。	55	2	417			10 ～ 29
81	2016	9	10～ 11	処置室で、丸椅子にのり戸棚の心電図を取ろうとしたところ、バランスをくずして転倒し、尻もちをついた。	57	1	371			10 ～ 29
82	2016	9	16～ 17	入居者の居室で車椅子からベッドへの移乗介助をしていた。車椅子に座った状態の入居者の両脇から手を入れて、ズボンを持ち上げベッドへ移乗する際に腰の異常音が聞こえ痛みがした。	54	19	921			300 ～ 499
83	2016	9	8～9	職員用駐車場で、車を駐車場に停めて雨が降っていたので傘をさし荷物を持って2～3歩歩いたが、地面の石につまずき転倒しかかったので車で支えようと車に手をついたが、手がすべり右足をひねり転倒した。	42	2	417			100 ～ 299
84	2016	9	13～ 14	急に雨が降って来たので洗濯していたタオルを取り込もうと勝手口のドアを開けて左足から出たところ、雨でぬれていた路面で滑って仰向けに転倒。右足を骨折した。	61	2	418			1～ 9
85	2016	9	8～9	自宅から医院まで自転車で向かい医院駐車場にて自転車に乗車したまま車止めに乗り上げ転倒したため、右の骨・右の靭帯・	62	2	362			10 ～

				右の肋骨・左手首を骨折した。				29
86	2016	9	1～2	深夜病室に巡視時、患者のベッド間に放尿してあるのを発見、直ちにモップで拭き再度乾いたモップで拭こうとする前に被災者が状況を見に来て、入り口の床が湿っていたため滑り、足をひねり転倒、尻もちをついた。	63	2	417	100 ～ 299
87	2016	9	9～ 10	患者の採血をした後、移動しようとした時につまずき転倒し、左膝を打撲した。	66	2	417	10 ～ 29
88	2016	8	9～ 10	花壇内のコンクリートブロックを撤去するため両手で持上げ移動中に段差でバランスを崩し、手元からコンクリートブロックを右足に落とし負傷した。	62	4	523	1～ 9
89	2016	8	16～ 17	食堂にて配膳受渡し棚の上部にある開き戸棚の開き戸2カ所にザル等の備品飛び出し防止のフック取り付けの為、脚立に乗り、取り付け作業を終えて降りる際、脚立の一番下の段を踏み外し右側に転倒し右肩、右目、右手首を強打し負傷する。	68	1	371	30 ～ 49
90	2016	8	10～ 11	隣接するグループ会社に、掲示用に書類のラミネート加工をして診療所に戻る途中で、4階から3階に階段を下りていたところ、両手に持っていたラミネートした書類がすべて落ちてしまった。拾おうとしたところ、足を踏み外して、転倒した。	45	2	413	100 ～ 299
91	2016	8	10～ 11	小児科外来診察室及び処置室で、診察介助並びに検査・処置を行った。マスク着用で業務にあたっていたが、咳のひどい患児が多かったため飛沫により感染した。	53	90	911	100 ～ 299
92	2016	7	12～ 13	清掃中に床から土間に降りる時に、左足を踏み外し捻ってしまった。	56	3	417	1～ 9
93	2016	7	12～ 13	休憩時間が終わるため、事業場内の休憩室から職場へ戻るため、ステーション脇を通りエレベーターの前を通った時、下にゼリーが落ちていることに気付かず踏んでしまい、滑って転倒	60	2	417	30 ～ 49

				し腰を打ってしまった。				
94	2016	7	9～ 10	入院患者の入浴介助中、特殊リフトを使用し、患者の背中を洗い、浴槽内で、ずり落ちた患者の身体を引き上げようとして、中腰の体勢で力を入れた時、腰部に違和感を覚え、その場で動けなくなった。	45	19	911	10 ～ 29
95	2016	6	10～ 11	病棟の患者の上肢及び下肢の筋力向上の為の運動中、下肢を持ち上げマッサージ及び運動をしていた時、腰部に激痛が走り一時動けなくなった。	57	19	921	10 ～ 29
96	2016	6	14～ 15	2階のスタッフルームで、午後の仕事開始準備をしていた所、床が畳で足が滑ってしまい左手を床について左手首を骨折した。	43	2	418	1～ 9
97	2016	6	9～ 10	院内検査室内にて、胃内視鏡検査の準備中に躓いて転倒し、右足首の腓骨、脛骨の骨折を生じた。	61	2	417	1～ 9
98	2016	6	16～ 17	介護施設内で天井から吊り下げている物干しハンガーに、介護利用者が使用するタオルを干すため長椅子の座面の上に立ち、顔を上に向けたとき、立ちくらみを起こして体勢を崩した。その際、アコーディオンカーテンを右手で掴んだが、体勢を立て直すことが出来ず長椅子から転倒し、床に体を打ち付け負傷した。	62	1	419	50 ～ 99
99	2016	6	12～ 13	ベッドに寝ている患者の介助を中腰の無理な姿勢で行った。直後、レントゲンの機械にレントゲンのカセットを装着させようとカセットを両手で持ち、中腰の姿勢で行っていたところ、腰部に激痛が走った。	62	19	921	30 ～ 49
100	2016	6	12～ 13	勤務終了後、職員出入口より出た所のレンガ敷きの地面のレンガが浮いており、それにつまずき転倒。右手をついた際に右手首を骨折。	73	2	417	30 ～ 49

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例（-2017年）](#)に戻る。